ふくしま 市議会だより

Vol.208

今回の主な内容

●市政を問う一般質問…………2
●常任委員会の審査……………4
●議案等の審議結果……………5
●委員会や検討会の活動………6
●議会報告会・意見交換会……7
●政務活動費の収支実績………7
●常任委員会の現地調査………8

6月定例会議を開きました＜6月1日～6月21日（21日間）＞

6月1日　開会
本　会　議
市長から議案25件、報告9件を提出後、提案理由を説明

6月7日～9日
本会議（一般質問）
12人の議員が登壇し、議案や市政の諸課題に関する質疑、応答
2～3ページ

6月10日～11日
常任委員会
議案や請願・陳情を審査
4ページ

6月15日
本　会　議
・会議の期間を延長
・各常任委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決
・追加議案の審議、討論、採決
5ページ

6月21日　閉会
本会議・委員会
追加議案の審議、常任委員会審査、採決
5ページ

議会トピックス

6月定例会議を延長し補正予算案を審議

最終日に追加議案として提出され、同日審議、可決

●追加された補正予算の内容
・新型コロナウイルス感染症対策（約7.4億円）
・令和3年福島県沖地震対応関連（約2.4億円）

新型コロナウイルス感染症に関する**ワクチン**や**支援などの情報**

令和3年福島県沖地震に関する**相談**や**支援などの情報**

こちらからご覧ください。

政策提言書を市長へ提出

●有害鳥獣による農作物被害対策に関する提言

詳しくは6ページへ

政策提言書はこちらからご覧ください。

令和3年春季

議会報告会・意見交換会 開催しました

5月10日、12日、15日の3日間、市内4カ所（清水・飯坂支所、蓬萊学習センター分館、信夫学習センター）で開催、36名の市民の皆さまに参加いただきました。

7ページもご覧ください

～タイトル写真～
写真美術館（花の写真館）
東日本大震災により被災し長年休館となっていましたが、令和3年5月にリニューアルオープンしました。写真美術館に関する情報はこちらからご覧ください。

市政を問う 一般質問Q＆A

市民の皆さまの生活にかかわる身近な市政の課題に関する質問を行います。

■くらし・安全

防犯カメラの設置　斎藤（さいとう） 正臣（まさおみ）

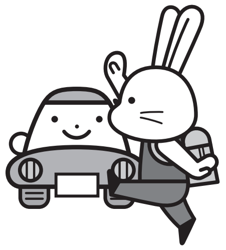
Q　商店街などの団体が、ガイドラインに即した防犯カメラを設置する際、既存の補助制度または新規の制度の補助対象とするべきでは。

A　地域コミュニティ等支援事業補助制度について、今年度、福島市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインに基づき設置する防犯カメラのほか、防災用品などの備品購入を新たに補助対象に加え、制度を拡充した。この事業では各地区に配分された補助枠を地元で話し合い、優先順位を設定しながら取り組みが選定される。選定は、各地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会で行う。

交通事故対策　石原（いしはら） 洋三郎（ようざぶろう）

Q　複数回、事故が発生している場所の事故原因の分析について、再発防止に向けて関係部署とどのように協議しているのか。

A　事故の多発地点や死亡事故などの重大な事故が発生した場合、警察や国・県・市の道路管理者や地元代表者などと事故発生時の状況と道路構造などを確認、検証し、事故の再発防止に向け、どのような対策が有効か協議を行う。その上で、注意喚起看板の設置や交通指導取締の強化、道路安全施設の改善など、必要な対策を実施している。

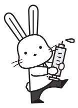


■福祉・健康

64歳以下の新型コロナワクチン接種　川又（かわまた） 康彦（やすひこ）

Q　現在の65歳以上に行っている接種方法の場合、64歳以下の対象者の接種は、いつ頃に完了するのか。

A　64歳以下の接種完了の見込は、接種能力の向上により10月末を目指している。今後、接種ワクチンの変更、対象年齢の引き下げなどの新たな要因が想定され、状況により流動的になる。

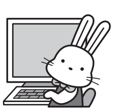


新型コロナワクチン接種予約の対策　高木（たかぎ） 直人（なおと）

Q　アクセス集中によるさまざまなトラブルを踏まえ、今後何らかの対策を検討しているのか。

A　オンライン予約は、サーバー容量を1分間で6万アクセス可能にまで増強しアクセス集中に対応した。電話予約は、新たに相談ダイヤルを開設するなど、予約と相談を分けることも検討する。

今後も、できる限りオンライン予約をお願いするとともに、まずは、かかりつけ医に相談いただくことを引き続き周知していく。



介護従事者の新型コロナワクチン接種　梅津（うめつ） 一匡（かずまさ）

Q　医療従事者と同様に、介護従事者をひとつの枠として優先接種を進めるべきでは。

A　国が優先接種者としている高齢者施設等従事者の範囲には、介護保険施設のほか居宅系介護サービスも含まれ、居宅サービス事業所および訪問サービス事業所などの従事者を高齢者施設などの従事者に含めて優先接種の対象とすることが可能との見解が示されている。本市においてもこの考え方を踏まえて対応する。

国民健康保険制度　村山（むらやま） 国子（くにこ）

Q　コロナ禍により国保加入者が苦境に立たされている中、税率引き上げをするべきではないのでは。

A　令和11年度に予定されている県保険税率統一に向け、被保険者が将来急激な税負担増となることを緩和するために、今年度より、繰越金を活用し段階的に税率見直しを行う。令和3年度の税率は、区分ごとに必要な税額を確保するために、医療給付費分を引き下げ、介護納付金分を一部引き上げるなど見直しを行ったが、繰越金の活用により1人当たりの平均調定額は、昨年度と比較して、ほぼ同額である。

高齢者が元気に活躍するための組織づくりと施策

大平（おおひら）洋人（ひろと）

Q なり手不足が深刻化している老人クラブなど、高齢者向けの団体運営の現況は。

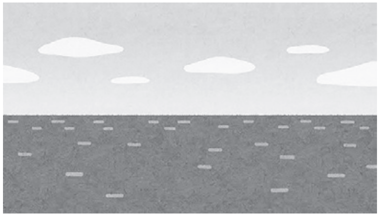
A 老人クラブは、令和２年度現在、206クラブ、１００５３人が加入しているが、５年間で単位老人クラブ数は38クラブ、２５０３人減少している。シルバー人材センターは、令和２年度実績が就業実人数805人、受託事業件数６５２７件であるが、５年間で就業実人数109人の減、受託事業件数が１８２４件減少している。

市民の命と健康への影響

山田（やまだ）裕（ゆたか）

Q 福島原発におけるトリチウム水が海洋放出された場合、汚染された魚介類を摂取したことによる市民の健康への影響は。

A 県は定期的に魚介類のモニタリング検査を行い、安全性を確認している。国は令和３年４月、処理水を海洋放出するにあたり基本方針をまとめ、処理水の処分方法は国際ルールに基づく国内の規制基準を遵守し、環境などの安全を確保するとしている。以上のことから海洋放出された場合でもトリチウムからの健康への影響についての考え方に変更はないと認識している。



コロナ禍における女性の負担軽減

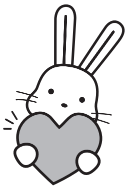
小野（おの）京子（きょうこ）

Q 防災備蓄品の生理用品を必要な方に配布できる体制整備を本年４月に会派として緊急要望したが、その後の取り組み内容は。

A 防災備蓄用品の入れ替えにあわせ、生活福祉課、こども家庭課の窓口で、ももりんマークを指した方へ生理用品を渡す方法により配布している。

６月７日現在の配布数は、生活福祉課で７パック、こども家庭課で８パックの計15パックとなっている。

生理用品配布は一時的な支援としては有効と捉えており、災害備蓄用品の買い替えを活用した配布の継続も含め今後検討する。



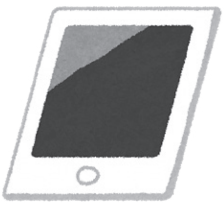
■教育・文化

福島型オンライン授業

石山（いしやま）波恵（なみえ）

Q 福島型オンライン授業を今後、どのような体制で実現していくのか。

A ＩＣＴ指導員やＩＣＴ支援員による支援、ＩＣＴ推進員による校内研修の強化、各学校での実践事例の紹介などを通して、校内でもタブレットを活用した授業について情報を共有する。すべての教師が活用を指導できるようにすることにより、児童生徒が日常的にＩＣＴを活用できる力、情報活用能力を身につけることができるようにする。

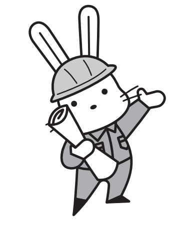


小中学校の施設

宍戸（ししど）一照（かずてる）

Q 校舎の外装は予防保全と長寿命化の工事の対象となるのか。

A 校舎などの外壁改修は、国の補助事業である長寿命化改良事業の対象工事となり、学校施設等個別計画の優先順位に基づき、計画的に改修を行う。本年度は予防保全の観点から、市の事業により小中学校６校の屋内運動場の屋根などの塗装や改修工事を行い外装の保全を図る予定である。

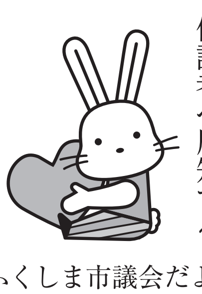


女性の貧困問題、生理の貧困への支援

佐原（さはら）真紀（まき）

Q 学校内トイレの個室に、生理用品も備品として置いてある状態が理想では。

A 児童生徒の発達段階や衛生面、管理面を考慮し、個室トイレなどに生理用品を置いてはいないが、保健室に準備し、児童生徒から相談があった場合に養護教諭や女性教員が対応し配布している。児童生徒がより気軽に相談したり、カードなどを使って意思表示できる環境づくりに努めるとともに、不安を抱えることがないよう各学校の対応について、保健だよりなどで保護者へ周知するよう指導する。



常任委員会の審査

※６月定例会議において４つの常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案及び請願・陳情の審査を行いました。各常任委員会に付託された議案の中から主な内容をお知らせします。

総務

◆自治体版マイナポイント実証事業

国のポイント還元事業「マイナポイント」の地方版モデル事業として、市の成人式に参加などした新成人に対し、従来の図書カードの贈呈に代え、500円分のポイントを付与する。市モデル事業では「au pay」「楽天 Edy」「d ポイント」「WAON」の４社のポイントを対象として実施する。

◆財産処分の件

閉校以来遊休施設となっている旧茂庭小学校の敷地、校舎などの有効活用を図るため、茂庭地区の活性化ならびに地域振興に寄与する事業者を広く公募した結果、風力発電関連産業に必要な人材の育成事業を提案した事業者を処分先に選定して売却する。

旧茂庭小学校全景

文教福祉

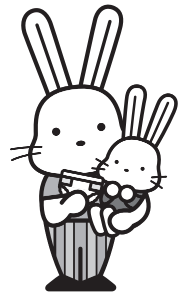
◆ PCR 検査事業

新型コロナウイルス感染症対策の強化として、変異株の影響などを踏まえ、広く接触者に検査を行うため、検査費用を追加する。

◆赤ちゃんエールクーポン事業

変異株の拡大など新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、衛生用品の購入など妊娠期、出産後の生活を支援するため、ふくしま市民生活エールクーポンを活用して、新たに「赤ちゃんエールクーポン」を贈呈する。

対象者は令和３年度に出生・出生予定の赤ちゃんで、ふくしま市民生活エールクーポン７千円分を１セット配布する。



経済民生

◆凍霜害特別対策事業

令和３年４月に発生した凍霜害による農業被害が甚大であったことから、農作物の減収の影響を最小限に抑えるため、必要な資材の購入を支援する。また、来年春用の防霜資材購入や不要枝剪定の支援策を追加し、営農継続を支援する。

◆財産処分の件

福島おおざそうインター工業団地 E 区画について、公募審査により立地が内定した企業へ売却するため処分する。

立地する企業は、本市産果物の集荷・出荷のための物流拠点、同果物を使用した加工品の試作・研究、市内賃借樹園地での果物などの生産を予定している。

建設水道

◆財産取得の件

除雪ドーザが平成11年度の取得から22年が経過し、経年劣化に起因する損傷などが発生した場合、降雪時に稼働不能になることが考えられる。将来にわたって安定的に冬期間の円滑な道路交通を確保し、市民生活の安全性や快適性の向上を実現する目的で取得する。

◆一部損壊住宅修理支援事業

令和３年福島県沖地震により応急修理の対象とならない一部損壊が生じた住宅に対して、日常生活に不可欠な部分を応急的に修理した場合の費用の一部を定額で補助する。

対象は以下の要件を全て満たす方

①地震により被害を受けた住宅に居住し、り災証明が「一部損壊」

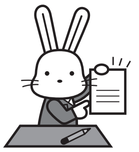
②自らの資力では修理できない

③消費税込み20万円以上の修繕工事を実施した

～議案等の審議結果～

結果欄：○→原案可決、同意、認定、採択
　　　　×→原案否決、不同意、不認定、不採択

６月定例会議



各議案の概要や資料はこちらからご覧ください。

〔市長提出議案／29件〕

区分	件　　　　　名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第３号、第４号、第５号）、福島市国民健康保険事業費特別会計	○
条例制定案	福島市子どものえがお条例	○
条例改正案	福島市地区集会所条例	○
	福島市税条例等	
	福島市固定資産評価審査委員会条例	
	福島市手数料条例	
	福島市火入れに関する条例	
	福島市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例	
	福島市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等	
	福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例	
	福島市国民健康保険税条例	
	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例	
	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対する国民健康保険税の減免に関する条例	
	令和３年福島県沖地震関連災害による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例	
	東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例	
	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対する介護保険料の減免に関する条例	
	令和３年福島県沖地震関連災害による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例	
人事案件	財産区管理委員選任（土湯温泉町財産区：渡邉和裕 氏、曳地榮子 氏、佐藤宇一 氏）	○
	財産区管理委員選任（飯坂町財産区：伊藤育夫 氏）	
その他	損害賠償の額の決定並びに和解	○
	工事請負契約（福島市衛生処理場場内施設改造工事（電気設備））	
	工事請負契約（福島市衛生処理場場内施設改造工事（機械設備））	
	財産取得（除雪ドーザ）	
	財産処分（福島おおざそうインター工業団地Ｅ区画）	
	財産処分（旧茂庭小学校土地・建物）	
	専決処分承認	

〔委員会、議員提出議案／６件〕

区分	件　　　　　名	結果
意見書案	新たな感染症発生に対するワクチンや治療薬等の研究・開発への支援の強化を求める意見書	○
	東京電力福島第一原子力発電所構内保管の多核種除去設備等処理水の海洋放出に関する意見書	
	凍霜害被害による営農継続・再建への支援を求める意見書	
	地方財政の充実・強化を求める意見書	
	選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書	
	被災児童生徒就学支援等事業の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	

〔請願・陳情／９件〕

区分	件　　　　　名	結果
請願	国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出方について	○
陳情	保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書提出方について	×
	分煙対策推進に関することについて	×
	コロナ禍を克服し、国民のいのちと健康を守るための意見書提出方について	×
	西棟完成後の喫煙所の有無について	×
	福島市役所の駐車場確保に関することについて	×
	東京電力福島第一原発構内に保管されている原発汚染水の海洋放出撤回を求める意見書提出方について	×
	選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書提出方について	○
	「福島市国民健康保険税条例」改訂に関することについて	×

新庁舎西棟建設調査特別委員会

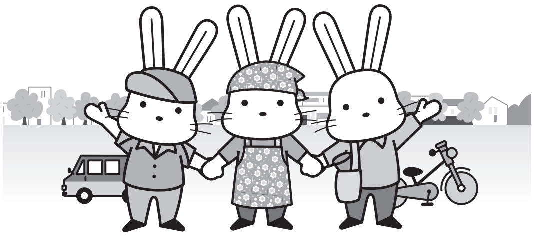
６月15日の本会議で、これまでの調査結果に基づく委員長報告を行いました。

主な内容

◇（仮称）市民センターとしての新しい西棟の基本設計が策定され、委員会としても市当局より詳細な説明を受けるなど調査を継続してきた。

◇基本設計では平面・立面計画などと併せて５つのコンセプトも示されたが、それらの内容は、これまでの委員会の調査結果も反映されたものであり、現時点で想定し得る持続可能な庁舎としての内容が盛り込まれたものとなっている。

◇今後は、当局が進める実施設計や建設事業の内容、管理運営方法などについて、引き続き議会としても注視していくべきであり、今までの調査の視点を継承しながら、新たに市民利用施設としてのあり方について調査していく必要があると考える。



活動状況や委員長報告はこちらからご覧ください。

常任委員会の所管事務調査

市議会では、常任委員会による市の事務に関する調査を積極的に行うこととしています。

６月15日の本会議で、これまでの調査結果に基づく委員長報告を行い、全会一致で承認されました。同日、政策提言書として取りまとめたものを市長へ提出しました。

経済民生常任委員会

テーマ：**有害鳥獣による農作物被害対策に関する調査**

調査期間：令和２年10月～令和３年５月

調査目的：本市では、有害鳥獣被害対策事業を推進しているが、依然として大きな被害が生じており、特に被害が大きいイノシシとニホンザルによる農作物被害へのさらなる対策が必要であることから調査を行った。

委員長報告はこちらからご覧ください。

主な提言内容

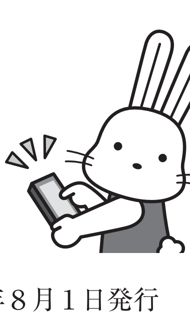
●住民が主体的に取り組む土台をつくるため、集落環境診断に積極的に取り組み、地域全体で課題や情報を共有し、解決策を見いだすことができる体制を構築すべきである。

●河川周辺の整備されていない樹木や、やぶに関して、河川を管理する国、県とさらに連携を強化し、刈り払いを行うなど、有害鳥獣を寄せつけないための環境整備を求めるべきである。

ICT活用検討会

●福島市議会のタブレット端末の導入に伴い、令和２年９月より、各会派から選出された委員がタブレット端末の活用及びペーパーレス化、議会の効率的な運営の推進などに関する検討を行っています。

●令和２年12月定例会議からタブレット端末と紙の資料を併用して議案審議などを行ってきましたが、令和３年６月定例会議より、完全ペーパーレスとしました。
（参考：令和２年度開催の定例会議の議案などは、委員会資料を除いて、***１議員あたり約3000ページ！***）



令和３年春季議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、また、市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

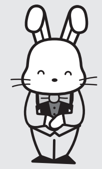
●第１部　議会報告会･･令和２年12月定例会議から令和３年３月定例会議までの各常任委員会、特別委員会における議案審査、調査の結果について、各委員会所属議員から報告
●第２部　意見交換会･･テーマを設けず、自由に意見を交換

意見交換会でのご意見の一部

★新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の予約がなかなか取れないが、今後受付の人数を増やさないのか。
★幼稚園送迎ステーションは、子育て世代にとってはとても良い政策だ。
★ごみ集積所のごみ散乱防止ネット購入費助成は、過去５年間に助成金の交付を受けている集積所は助成の対象外となるが、ネットは３年使用すると劣化してしまう。
★生理用品を満足に買えない家庭が増加し「生理の貧困」が深刻化している。無償提供などの施策が必要では。

いただいたご意見は、議員全員で共有するとともに、今後の議会活動にいかしてまいります。
参加いただいた市民の皆さま、誠にありがとうございました。

議会報告会・意見交換会の詳しい内容はこちらからご覧ください。



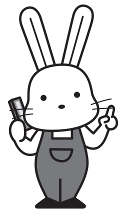
令和２年度政務活動費の収支実績をお知らせします

・政務活動費は、調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、福島市から各会派に対して交付されます。
・会派の所属議員１名あたり月額10万円が交付され、残金が生じた場合は返還しています。
　なお、令和２年10月分から令和３年３月分は、10％減額した額が交付されています。

単位：円

会派名		真結の会	真政会	ふくしま市民21	公明党福島市議団	日本共産党福島市議会議員団	耀ふくしま市議団旧社民党・護憲連合	全体合計
議員数		9人	9人	6人	4人	4人	3人	35人
収入内訳	交付額	10,260,000	10,260,000	6,840,000	4,560,000	4,560,000	3,420,000	39,900,000
	利子	41	24	15	13	9	10	112
収入合計		10,260,041	10,260,024	6,840,015	4,560,013	4,560,009	3,420,010	39,900,112
支出内訳	調査研究費	0	1,500	0	0	0	0	1,500
	研修費	0	0	0	0	0	0	0
	活動旅費	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	3,732,817	5,553,966	5,651,800	2,997,797	3,534,791	2,299,770	23,770,941
	広聴費	0	12,400	0	0	0	0	12,400
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	72,600	72,600
	資料購入費	13,492	72,540	145,974	0	229,584	20,137	481,727
	事務費	1,774,697	2,037,411	901,825	496,095	788,742	634,375	6,633,145
支出合計		5,521,006	7,677,817	6,699,599	3,493,892	4,553,117	3,026,882	30,972,313
収支差引額（市への返還金）		4,739,035	2,582,207	140,416	1,066,121	6,892	393,128	8,927,799

収支報告書、領収書などは、市役所１階の市民情報室や市議会ホームページでご覧いただけます。
政務活動費についての詳しい内容はこちらからご覧ください。



主な使途項目
●広報費：議会活動や市政について住民に報告するための経費
●資料購入費：図書、資料などを購入するための経費
●事務費：調査研究活動のために必要な事務の経費

常任委員会が現地調査を行いました

■廃止となった学校施設の状況を調査（文教福祉常任委員会）

４月16日に旧大波小学校・旧大波小学校上染屋分校・旧まつかわ西幼稚園の現地調査を行いました。

廃止となった学校施設のその後の活用方法および除却、売却などの全体的方針について、全庁的に積極的に検討し、具体的な個別計画を立てて処理していく必要があるなどの意見を市当局へ伝えました。

■霜による果樹の被害状況を調査（経済民生常任委員会）

４月に発生した霜による果樹の被害状況について、５月13日に果樹園の現地調査を行いました。

３時間以上にわたってマイナス３度が継続したことで凍霜害被害が発生し、視察先では開花が早かったために特に被害が大きかった日本ナシ・モモや中心果に被害が生じたリンゴの状況を確認しました。

温暖化の影響で次年度以降も同じような被害が発生する可能性があることから、防霜資材の購入費用や防霜ファンの設備投資の支援策などの検討により、今後の被害軽減や生産者の負担軽減に努める必要があるなどの意見を市当局へ伝えました。

９月定例会議開催予定（９月１日～９月22日）

日	月	火	水	木	金	土
			1 本会議 （定例日）	2 休　会（議案調査）	3 休　会（議案調査）	4
5	6 休　会 （議案調査）	7 本会議（一般質問）	8 本会議（一般質問）	9 本会議（一般質問） 議会運営委員会	10 本会議（一般質問） 決算特別委員会（全体会）	11
12	13 常任委員会 議会運営委員会	14 常任委員会	15 決算特別委員会（分科会）	16 決算特別委員会（分科会）	17 決算特別委員会（全体会・分科会）	18
19	20 （敬老の日）	21 休　会 （事務整理）	22 議会運営委員会 本会議 （採決等）	23 （秋分の日）	24	25

◆本会議は、通常午前10時から開会予定です。

◆９月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、９月２日㈭午前11時です。

◆日程や開会時間は、変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局（☎525－3776）までお問い合わせください。

全国市議会議長会

市議会議員表彰

全国市議会議長会第97回総会において、次の議員が表彰され、６月１日の本会議開会前に表彰状が伝達されました。

30年以上在籍表彰　山岸　清 議員

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960－8601　福島市五老内町３番１号
電話 024－525－3776　FAX 024－534－2520
福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/

発行：福島市議会　　編集：広報委員会

市議会のHPはこちらからご覧ください。

VEGETABLE OIL INK